第[illegible]本[illegible]株式會社職工解雇ノ件

日本[illegible]ニ於テハ(一)需給關係[illegible]落(二)販賣不振ナル
上(二)關西[illegible]增設ノ六月以降生產ヲ半減セザルベカラザ
ル狀態ニ立チ至リシヲ以テ、之ガ對策トシテ職工解雇ヲ行フ
イノデアリ
全社ハ昭和十年八月爭議以來勞働[illegible]留意シ、工場委員會
ヲ設置シテ、常ニ意思ノ疎通ヲ計リ居タルガ、今次ノ問題ニ當
面スル半季委員會ヲ利用シテ不況對策ヲ[illegible]ノ件

第一案　一ヶ月二週間ノ臨休
第二案　退職者ノ募集
第三案　解　雇

ノ三案ヲ內示シテ意見ヲ求メシニ第三案ヲ採用スルニ決定セリ。
之ニ對スル勞働者側ハ總數四十三ニシテソノ三分ノ二ハ金屬勞
働所屬大阪金屬勞働組合ニG M支部ヲ組織シ三分ノ一ハ非組合

財團法人協調會大阪支所
財團法人協調會大阪支所

員タリシガ所屬組合員ノ多數ハ平井美人ノ統制下ニ五月中旬同
組合ヲ脫退シ赤松派タル國家社會主義新黨、關西地方準備會ニ
走リタル直後ナレバ非組合員、全勞側、國社側ト、ソレゾレ相
離反シ結局國社G M支部ハ全體ヲリードスルガ如キ狀態ニ在リ
キ
會社ハ前ノ爭議ニ懲リタル爲、圓滿ナル遂行ヲ期シテ周到ナル
計畫ヲ樹テ、當會ニモ五月二十六日前田工場長補佐訪問シ來リ
テ助力方ヲ依賴シ來リシヲ以テ常ニ公平ナル助言ヲ與フルニ努
メタリ
會社ハ最初六月三日ニ解雇ヲ公示シテ土曜日ノ四日ニ手當金ヲ
支給スル豫定ナリシモ相當ノ波瀾ハ免レズト大事ヲトリ六月二
日委員會ヲ召集シ別記文書ノ趣旨ニヨリテ解雇ノ已ミ難キヲ說
明シ(一)解雇者ハ一九五名(二)解雇手當豫告手當ノ外一人當リ金百
圓ヲ支給スルコトヲ提示セリ